鈴木登美子　享年７３歳

自宅　庭にて

妻 登美子を偲んで

鈴木幸四郎

目次

遺影

はじめに　鈴木幸四郎……7

鈴木江庭さんの思い出

社団法人　全日本書道連盟顧問
財団法人　全国書美術振興会参事
日本中国文化交流協会常任委員
日展参与　創玄書道会会長　毎日書道会常任顧問
日本詩文書作家協会常任顧問　隆玄書道会会長
大井錦亭……8

感謝のひとこと

中野音楽学園主宰
作曲家
佐々木信雄……10

江庭先生そして鈴木さんへ　友人　猿渡澄子……12

鈴木様有難うございました　友人　富岡茂子……14

いいんですよ、それで　友人　山脇阿佐子……15

追悼
友人　早川美枝子……16
鈴木江庭先生を偲んで
友人　田中嘉一……18
江庭先生を偲んで
友人　飯島純子……19
「思い出」
友人　田嶋典子……20
鈴木江庭先生を偲ぶ
友人　木村詔次……21
登美子さんとの想い出
鈴木　稔（幸四郎の甥）……23
尊敬していた人
鈴木　コウ（鈴木稔の妻）……26
母
鈴木　宏幸（長男）……27
あたたかいははのイメージ
鈴木　智津（鈴木宏幸の妻）……29
母へ
阿辺　恵美子（長女）……30
書を学ぶ……31

歌（唄）を学ぶ……50
俳　句……59
柳田泰子（幸四郎の小学校同級生）……60
小林きみよ（右同）……60
鈴木幸四郎……61
おわりに
鈴木幸四郎……62

はじめに

鈴木　幸四郎

本年二月二十一日、妻鈴木登美子は、突如心不全のため他界しました。（享年七十三歳）

生前皆様から賜わりましたご指導や、ご厚情に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

登美子が終生の生き甲斐として取組んでまえりましたのは、書道であり次いでカラオケであります。今でも熱中している姿が目に浮かびます。

そこで私は、故人がこれらをこよなく愛し楽しみながら生きた証（あかし）として、その一端を、写真やテープ等で残してやりたいものと考えましたところ、早速多くの先輩や友人から、作品や思い出話等が寄せられました。

それでその内容の一部を小冊子にしてまとめてみました。ご高覧いただければ大へん嬉しく思います。

鈴木江庭さんの思い出

社団法人　全日本書道連盟顧問
財団法人　全国書美術振興会参事
日本中国文化交流協会常任委員
日展参与
創玄書道会会長
毎日書道会常任顧問
日本詩文書作家協会常任顧問
隆玄書道会会長

大井　錦亭

今年の隆玄書道会総会は二月四日中野サンプラザで開催されました。その折懇親会の余興の部で江庭さんは司会進行役としてあんなに元気溌剌だったのに。二十日の月曜本部教室では、平常と何ら変ることなく立派な作品を発表し皆さんと会話もはずんでいたのに。その翌日のこと、江庭さんの訃報に接し只々耳を疑がうばかり、全く信じられませんでした。

以前、山口栖玄先生のもと書に励んでこられ、縁あって先生共々私のところで研鑽されることとなり